

**教育実践を研究にする5つのステップ
—SoTLの理論と実践—****■講師**

佐藤 浩章（大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 准教授）
専門は高等教育開発，技術・職業教育論。2002年に愛媛大学大学教育総合センター教育システム開発部講師となり，同大教育・学生支援機構教育企画室准教授，副室長などを経て，2013年10月より現職。著書に『大学のFD Q&A』（編著），『大学の質保証とは何か』（共著），『大学教員のための授業方法とデザイン』（編著），『学生と楽しむ大学教育：大学の学びを本物にするFDを求めて』（共著），翻訳に『大学教員のためのルーブリック評価入門』（監訳）などがある。

■プログラム概要

本ワークショップでは，教育実践を研究するための方法を学ぶことを目的としています。大学教育実践とは，授業，カリキュラム，学生指導，FDやSDなど多様な実践を含んでいます。こうした実践に関与する教職員の中には，本当に教育効果があるのかと，自問する人たちもいるでしょう。あるいは様々な理由から，その教育効果を検証せざるを得ない状況にいる人たちもいるでしょう。本ワークショップはそうしたニーズに対応するものです。

パート1では，教育実践研究とは何かについて，SoTL (Scholarship of Teaching and Learning) の概念を使って理解します。

パート2では，教育実践研究の事例を紹介しながら，その実際を理解します。

パート3では，研究のデザインプロセスを説明し，自らの実践をあてはめることで，教育実践研究をデザインします。

パート1，2は講義法を用い，パート3は個人ワークとペアワークを用います。

■準備物や事前課題

どの教育実践を研究にするのかをイメージしておいてください（授業，カリキュラムなど）。

■主な受講対象

授業，カリキュラム，学生指導，FDやSDの実践に直接関わっており，その効果検証をしたいと感じている教職員。

■本プログラムの到達目標

1. SoTLの概念を説明できる。
2. 教育実践を研究にするステップを説明できる。
3. 自らの教育実践を上記ステップにあてはめることができる。
4. 自らの教育実践を研究にしようというモチベーションを高められる。

■日時・場所

日時：平成29年8月24日（木）13：00～15：00

場所：徳島大学常三島キャンパス